

ボナンタゴン

アピカホールから
あなたに

Vol.62

2011.10月-12月



猪俣 猛さん

前田憲男さん

荒川康男さん

15周年記念コンサート
十二月十一日開催!

第116回 しほぎくろコンサート
WE3ジャズライブ
二月十一日開催

■寄稿 猪俣 猛

第117回 しほぎくろコンサート
ヴァイオリンの魔術師
古澤 巖と
ライツ室内管弦楽団
二月二十五日開催

■寄稿 古澤 巖

うかわ先生の
おんがく談議

■音楽の話 輪・和・Wa
保育とクラシック音楽

西協市立音楽ホール

Apika
アピカホール

「15周年記念コンサート」

— 市民主役のコンサート —

本年度、アピカホールは開館満15周年を迎えた。周年行事にふさわしい音楽会を企画するにあたって様々な案が提案された。なかでも著名な演奏家を招聘し、広く市民に鑑賞してもらってはどうかという意見がでた。多少費用がかかるが、その分観客を集められる利点がある。しかし、一過性の催しに終わってしまうことを危惧する意見もでた。将来にわたって、アピカホールが小都市にありながらも独自性を発揮し、市民の力で輝くホールを目指すきっかけとなる記念行事を催してはどうかとの提案もなされた。

たしかに、市内及び近隣にはピアノをはじめ音楽を学んでいる人が非常に多いことや音楽を専門に勉強している人も少なくない。また、当ホールでは開館以来次代を担う子供たちのプログラムを企画し、継続開催を実現し、将来の人づくりのための事業を積極的に取り組んでいる。これらに参加した人たちは延べ2,600人余にも及び地元西脇をはじめ各方面で音楽活動をする人材が育成され、それを支える市民の旺盛な活動と相まって、音楽を通じたまちづくりの一助を担っている。

これらの15年間の実績を踏まえたうえで、著名な演奏家を招聘する音楽会に比べ、準備や練習など比較にならないほど苦労も多いが、多くの市民に参加してもらえるような地域に根ざした音楽会にしてはどうかという意見に傾いた。関連して開館10周年記念事業として開催した市民ミュージカルの公演では、公募による合唱団を編成し、当ホールの優れた響きを生かした演奏がなされ、その美しいハーモニーに市民の大きな感動を与えた。その後、合唱団の再編成を希望する声が市民から寄せられていることも報告された。

結果として、この記念すべき年を市民とともに寿ぐため、市民が舞台で歌い奏でる市民参画の「開館15周年記念コンサート」を開催

することに決定した。また、このコンサートの音楽活動を通して芸術・文化がより市民の身近なものになると共に、この活動エネルギーが今後の人づくり、まちづくりへの発展につながっていくよう取り組んでいくことも確認された。

12月11日の記念音楽会の概要は次の通りである。

第1部 夢の共演

- ・日ごろ独唱・独奏曲として演奏している曲に南出信一氏の指揮と、今回特別に協奏曲風に編曲された弦楽五重奏の伴奏が加わり出演。

第2部 合唱

- ・公募により15周年記念コンサート合唱団(児童合唱団と混声合唱団)を編成し、弦楽五重奏と藤原治道氏のピアノ伴奏でコンサートに出演。

合唱団は6月に発足し、毎週月曜日を練習日とし、毎回プロの指導を受け、呼吸法や発声法など基礎を学び、歌う楽しさやハーモニーを作り上げる喜びを目標に練習が進められている。

最後に、アピカホールの事業運営には、多くのボランティアの方々の献身的な支えのうえに成り立っていることを感謝をこめて記しておきたい。

館長 宮下統一郎

チケット発売情報! 「15周年記念コンサート」

と き 12月11日(日)
 昼の部 13:30開演
 夜の部 18:30開演
 入 場 料 一 般 / 1,500円
 高校生以下 / 1,000円
 発売開始 10月22日(土)
 窓口販売 9:00~
 電話予約 13:00~

〈合唱部門〉

児童合唱団練習によせて

「ス ス ス ス」
 「プル ル ル ル」
 「ポ ポ ポ ポ」
 「ガン ガン ガン ガン」
 「マア ア ア ア」



アピカホール開館15周年記念コンサートに出演する、児童合唱団20名の発声練習の様子です。毎週月曜日、午後5時半から7時まで、指導者の百合花先生と衣川先生にお越しいただき、練習しています。

家でどんな練習をしてきましたかと尋ねられると、それぞれ、口々に「息の練習」「さんぼの歌の練習」などこたえ、よく練習をやっています。

「さんぼ」の練習時に、「おかあさ〜ん」と呼んでみましょうという指導者に、「僕はママと呼んでいる」と返したり、指を折って休符の長さを確認する指導者を見て、すぐ真似をする子がいます。見ていると、そんなに話をしっかり聞いているようには思えないのに、結構指導者の意図に沿っているとわかります。

低学年の人が多く、子どもたちの声に良くあった選曲を工夫していただき、また、人数も少ないので、一人一人の声を美しく磨き、いいハーモニーをつくることをめざして楽しく歌っています。

休憩時間になると、水を得た魚の如く、ホールをところせましと動き回ってリフレッシュして、また、後半の練習を始めます。

加西市、加東市など、近隣の市から、夏休みも毎週アピカホールに練習に来られる保護者の方々のご熱心に頭が下がります。半年間の練習で、すばらしく成長されることでしょう。

子どもらしい、いきいきとしたのびやかな声で、アニメソングやわらべうた、唱歌の合唱に取り組んでいます。演出の妙味も加わった、12月11日の合唱を、是非お聴きいただきたいと思えます。(レポート 西山敦子)

〈演奏部門〉

出演者決定!

8月28日、南出信一氏、藤原治道氏、百合花氏を選考者に迎え、演奏会を開催する上で、総合的に、またコンサートの趣旨を加味して選考いただき、応募総数36組から12組の方々に出演いただくことになりました。

昼の部 (13:30開演)

末吉 七彩 (加東市・幼・ピアノ)
 松山みこと (西脇市・小3・ピアノ)
 谷河 礼菜 (加東市・中2・ピアノ)
 橋本 孝公 (多可町・声楽)
 深田 玲功 (西脇市・フルート)
 水谷やよい (加西市・声楽)

夜の部 (18:30開演)

桑島 穰里 (西脇市・幼・ピアノ)
 梅田 岳昌 (西脇市・中1・ピアノ)
 藤井 太洋 (西脇市・高2・コントラバス)
 樋口 清文 (小野市・クラリネット)
 真鍋 典晃 (多可町・ピアノ)
 横枕佐代子 (西脇市在勤・声楽)

※演奏順ではありません。

2月11日(土・祝)

アピカホール開館15周年記念事業
第116回しばざくらコンサート

WE3 ジャズライブ

前田憲男(p) 猪俣猛(ds) 荒川康男(b)

— WE3と日本のジャズの歴史 —

ジャズドラマー 猪俣 猛

今回皆様に聴いて頂くバンドはピアノトリオで、前田憲男さんを中心とした、ベース荒川康男さん、ドラムス私猪俣猛の三名です。グループ名はWE3(ウイ スリー)と称し、約半世紀に渡って活動しています。時には、前田憲男トリオとも云われていますが、この理由はなんと云っても音楽の中心となるのはピアノなので、この様に称される場合もあります。さて、このWE3のこれまでの歩みを中心に記する事で日本のジャズの歴史もお伝え出来ればと思います。

結成当時は、今日の様なライブハウスではなく、ジャズ喫茶と云われていた時代で、LPレコードを聴かせるジャズ喫茶がほとんどでした。時によりライブを行う店が在った程度です(コーヒー中心)。しばらくして、今日の様なライブハウス形式に変わってきました。当時は日本経済がグングン成長し、東京オリンピック、新幹線、高速道路、テレビジョンが普及し、世の中が急激に変貌を遂げていく時代でもありました。では、ここで簡単に日本のジャズ史を記する事に致します。

私や前田憲男さんなどは、日本ジャズ界の第三世代と云っても良いのではないのでしょうか。第一世代は、戦前、昭和初期で、代表的な音楽家として、南里文雄トランペット、作曲家として有名な服部良一、トロンボーン谷口又士、指揮者の紙恭介、ドラムでは飯山茂夫と云った多くの優れたミュージシャンが神

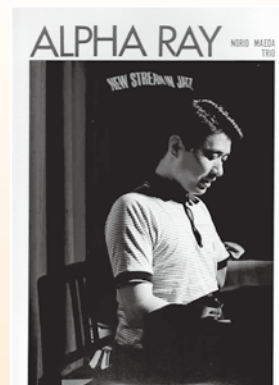
戸、上海と云ったところで活躍して、我が国に多大な影響を与えていましたが、残念ながら大東亜戦争が昭和16年から始まり、昭和20年終戦を迎えこの間敵性音楽として、アメリカが産んだ偉大な文化である、ジャズ音楽が禁止されていました。戦後、当時、陸軍、海軍、空軍に属していた、軍楽隊が再びジャズの魅力に導かれ、第二次ジャズブームが起ってきました。その中心的な職場として、ダンスホール、ナイトクラブ、しばらくして、キャバレーが全国的に娯楽の場として広まりました。チョット話は戻りますが、戦後しばらくして、朝鮮戦争が始まり、日本に多くの米軍キャンプがあり、その中に多くの娯楽施設があり、四段階に分かれた階級制のあるクラブが存在し、上からいくと、オフィサスクラブ(重役クラス)、NCOクラブ(課長クラス)、EMクラブ(一般社員)、それに、サービスクラブ(お金があまり無い人達用)があり、そこに多くのバンドが職場として、華やかなアメリカ文化があり、本格的なジャズ音楽のあるこのキャンプから、今日の日本のジャズが産まれたと云っても過言ではないと思っています。私や前田氏もこのキャンプから育ってきた様な気がします。

さて、話は元に戻りますが・・・、日本にジャズの一大ブームがこの時代から起ってきます。又、ここにも大きな三つの流れがあり、第一にコンサートを中心としたコンサートバ

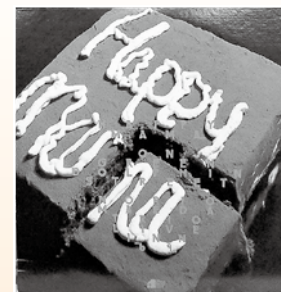
ンド、そして、ダンスバンド(ビッグバンド)、ナイトクラブバンド、と大きく分かれていました。代表的なコンサートバンドとしては、レイモンドコンデとゲイセプテット。依田輝夫とシックスレモンズ。渡辺晋とシックスジョーズ。鈴木章治とリズムエース、と云った数多くの、コンサートバンドが出現し有楽町にあった日劇を中心にして多くの観客を収容出来る場所で活動していました。なんと云っても、日本のスーパーバンドとしてはジョージ川口とビッグフォー。ドラムジョージ川口、テナーサックス松本英彦、ピアノ中村八大、ベース小野満の四人が我が国に残したジャズに与えた影響は多大です。一方モダンジャズもこの時代に誕生し、ピアニストの秋吉敏子率いるコーージーカルテット(渡辺貞夫がいた)、その少し前になるが我が国のモダンジャズの世代を告げる伝説のバンドCBナインと云うバンドが有り、その中には松本英彦、ドラムの清水潤、アルトサックスでありアレンジャーでもある馬渡誠一郎、トランペット北里典彦、そして伝説のピアニスト守安祥太郎と云った強力なメンバーで、この伝説のバンドはモガンボセッションとして、今日ではCD化されているはずです。

さてWE3の話に戻りますが、その原点は

西條孝之介とウエストライナーズのリズムセクションで当時のベースは滝本達郎(故人)ピアノ前田憲男、ドラムス猪俣猛で、この3人が当時銀座に有ったジャズ喫茶(ろーく)で出演する機会があり、そこからこのWE3がスタートしたと記憶しています。初のアルバムは、アルファレーイと云うタイトルで発売され今日ではCD化されています。その後WE3ジャズ、ブロードウェイ、ハッピーママ(ろーくでのライブ盤)と云った数多くのアルバムを発売してきました。なぜWE3と云うバンド名をつけたかと云いますと、我ら三人と云う意味で基本的にはリーダー名の無いバンドで個人を尊重して、このように、私が命名しました。その後ベースの滝本さんがこの世を去り、次のベーシスト鈴木淳が参加、その後アメリカバークリーに留学から帰国した荒川康男がこのWE3に参加し今日に至っています。このWE3の音楽的志向はもちろんジャズが中心ですが、良い音楽と聴衆の求める音楽の妥協点を中心に、幅広いレパートリーがなんと云っても他のバンドを寄せ付けないスケールの大きさと、優れた音楽性が今日まで新鮮さを保っている所以ではないかと私は自負しています。どうぞ、このひと時をWE3の音楽を楽しんで頂ければ幸いです。



アルファレーイ



ハッピーママ



Live at The fill

2月25日(土)

アピカホール開館15周年記念事業
第117回しばざくらコンサート・県民芸術劇場

バイオリンの魔術師 古澤巖とライツ室内管弦楽団

バイオリニスト 古澤 巖

この度、二月に公演させていただきます、バイオリンの古澤巖です。どうぞよろしくお願いたします。

2006年からは、HATSレーベルに移籍し、バイオリンで、ラテンポップや、オリジナル作品などのエンターテイメントを行っています。クラシックも、聞き慣れたひとふしだけをモチーフに、ダンスmixにアレンジしたり。

不思議な事に、自分で作品作りにチャレンジしたり、ビートの効いたダンス音楽を弾いているうちに、オタマジャクシとの付き合い方が変わってきました。譜面どおりに上手に演奏するだけでは、「さま」にならないのですから。

楽譜はレシピにすぎない。そのとおりにやっただとしても、料理にならないのです。その事に気付かせてくれたポップな音楽達に、心から感謝しています。

「バロックは、ロックだ!」とよく言われます。その自由な懐の深さを、現代のグループで再現したいと思います。

今回のコンサートでは、ヴィヴァルディ「四季」を全曲演奏します。お楽しみに。

アピカホール開館15周年特別企画!

第116回しばざくらコンサート

「WE3 ジャズライブ」

前田憲男(p) 猪俣猛(ds) 荒川康男(b)

とき 平成24年2月11日(土・祝) 14:00開演

入場料 一般/3,500円

高校生以下/2,000円

第117回しばざくらコンサート 県民芸術劇場

「ヴァイオリンの魔術師

古澤巖とライツ室内管弦楽団」

とき 平成24年2月25日(土) 14:00開演

入場料 一般/3,000円

高校生以下/1,500円

アピカホールが贈る2大コンサートのお得な前売セット券

チケット発売開始 平成23年11月12日(土) 窓口販売/9:00~ 電話予約/13:00~

前売セット券販売期間 平成23年11月12日(土)~平成24年1月31日(火)

前売セット券販売価格 一般/6,500円→6,000円 高校生以下/3,500円→3,000円

セット券取扱所 アピカホール ☎0795-23-9000 西脇市民会館 ☎0795-22-5715

KOBE STYLE

Kitchen & Reform

www.kobe-style.co.jp

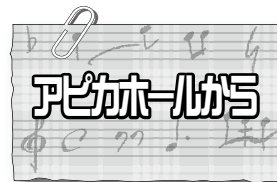
〒658-0032

神戸市東灘区向洋町中6-9 TEL:078-857-8424
神戸ファッションマート10F FAX:078-857-8425



カジュアルカフェ **メルシー**

西脇市和田町53 エルソル1F
TEL/FAX (0795) 23-0125



8月27日(土) アピカホール開館15周年記念事業

第15回「リトルピアニストの大きなコンサート」

53組のリトルピアニストたちが、日頃の練習の成果を発表しました。

アピカホールにあるスタインウェイピアノを広く皆さんに弾いていただきたいという願いから始まったこのコンサートも今年15回目を迎えました。

このコンサートは、「演奏家の卵」たちがこれからも音楽に興味を持ち続けることを期待し、また自分の演奏だけでなく、他の出演者の演奏を聴くマナーを身につけることも大きなねらいとして開催しています。



午前の部



午後の部

弦楽アンサンブル教室



アピカホールでは、8月8日と9日に藤井允人氏(元大阪フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター)を指導者に迎え、13名の小・中学生に参加いただき、弦楽アンサンブル教室を実施しました。

この教室は、楽譜のしかけを学び、音楽の秘密にせまることで、音楽の不思議な世界にふれ、アンサンブルの楽しさを感じてもらいたいと願って開催しました。

ヤマハ この秋がはじめトキッ! 「秋の無料体験教室★予約受付中」

音楽 英語 0歳児から大人まで

イベント情報

11/6(日) 全国で大ブレイク中!

11:00開演 広原かおり

(アピカホール) ~こどもからおとなまで楽しめるエレクトーンコンサート~

マル・マル・モリ・モリ 威風堂々 他

お問い合わせ
ヤマハ特約店 **(株)北条楽器**

加西市北条町横尾183-5 ☎0790-42-0697

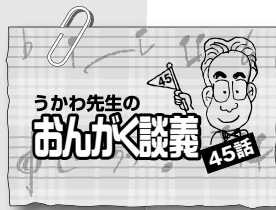
総合建設業 一級建築士事務所
国土交通大臣認定鋼構造物製作工場
あんしん住宅瑕疵保険届出事業者



WAIKI CONSTRUCTION CO.,LTD.

和以建設 株式会社

☎677-0018 西脇市富田町36
電話 0795-22-5651(代)



分りにくい音楽家ショパン(その3)

ショパンは肺結核を患っていて、この病気が彼の心身をむしばみ死に至らしめたことは疑いのないところです。結核はその当時不治の病で、人々は結核をひどく恐れていました。婚約までした仲だったマリア・ヴォジンスカとの縁談も、ショパンが咯血をしたという噂が広まったため破談になってしまったほどです。25歳で初めて咯血して以来、体調が悪くなると咯血を繰り返していたショパンは、いつも死と背中合わせの生活を送っていたといえます。

そのような絶望的な人生を送りながら、彼の生み出す作品には、不思議と暗さがあまり見出せないように思えるのはどうしてでしょうか。リストの愛人であったダゲール伯爵夫人は、ショパンのことを「牡蠣のような人だ」と評した(註1)と伝えられています。つまり、ショパンは、他人には自分の内面を明かさないうタイプの人間だったようです。他人には明かさなかったとしても、それでは、ショパンは、作品の中では自分の本心を明かしているのでしょうか。ショパンの最大の謎は、この点にあるように私には思われます。

先般亡くなられた美術史家の若桑みどりさんは、ショパンの音楽を、「秋の音楽」と形容しておられます。

「なぜ『秋』がいいかというと、私がショパンの音楽に感じるのは、いつも明るさだからである。それは、いのちの終りを知ってい

るあの明るさであり、死期を知った虫のように秋にふさわしい。」(註2)

ショパンの音楽の中には、何かに憧れるかのような明るく甘美なメロディーがよく顔を出します。「全体を覆う暗鬱な趣きは、ショパンの全作品中にも類の少ないものである」(註3)と評されている**ピアノ・ソナタ第2番 変ロ短調**においてさえも、ソナタ形式で書かれた第1楽章の第2主題や、第2楽章スケルツォの中間部、そして有名な葬送行進曲である第3楽章の中間部には、このような明るく甘美なメロディーが姿を現します。しかし、そこに感じられるのは、はつらつとした希望に満ちた青春の明るさではありません。若桑さんがうまく形容されていた「秋の明るさ」、言い換えれば「死期を間近に控えた者の諦念の明るさ」と言えるかもしれません。

フランスの哲学者で、音楽に関する著作も数多くあるヴラジミール・ジャンケレヴィチは、ショパンの作品のいくつかに、死の臭いを嗅ぎつけています。そしてまた、奇異なものを好む趣味と破局の表現を見出しています。(註4)彼が挙げている例の中からいくつかをご紹介します。

先ず、葬送行進曲。

ピアノ・ソナタ第2番の第3楽章だけが、ショパンの葬送の唯一の作品ではない。ハ短調で書かれた**前奏曲第20番**、同じくハ短調の**夜想曲第13番**、そして、段階的に致死の深みへ

とのめり込んでいく**幻想曲**へ短調のプロローグもまた、悲痛な葬送行進曲である。

次に、奇異なものを好むショパンの悪魔主義の例。

前奏曲第24番とそのすさまじい地獄変の終結部。**ソナタ第2番**の中の、残酷な魔のスタッカートと怒り狂う反復音とをうちならすスケルツォ。髪ふりみだしたメフィストテレスを連想させる輪舞のなかで、昂ぶり、渦をまく**幻想曲**へ短調。

また、ショパンにあつての舞踏は、実にしばしば死の舞踏となる。

バラード第1番をしめくくる異形の終止のなか、**練習曲イ短調**、作品25-11の激昂した固執と、**練習曲へ短調**、作品10-9の16分音符による5連音群のなか、**スケルツォ第2番**の威圧的にくりかえされる衝撃的な打鍵のなか……。支離滅裂の背後には、茜色にそまってあざわらう地獄がおそらくは在るだろう。

最後に、破局の表現。

運命が戸をおしやぶって乱入する。それというのも運命が、悲劇的な暴力だからである。たいへんな破局が、**スケルツォ第2番**の冒頭に、同じく**バラード第2番**にも、ただけしい勢いでやってくる。

パリの社交界のサロンに夜な夜な出入りし

ていたショパン。そのようなサロン向けの気軽に聞き流せる肩のこらない音楽ばかりを作っていたかのような印象を与えるショパンですが、実際には、やはり、押さえ切れない悲劇性が噴き出している作品が存在していることが、ジャンケレヴィチの鋭い洞察を通してお分かりいただけたのではないかと思います。そして、そのような人間性の極限を表現している音楽があるからこそ、そしてまた、究極のことを言う勇気をショパンが持っていたからこそ、ショパンは、今日、大音楽家たちの列に加えられているのだと言えるでしょう。

註(1) 遠山一行

『ショパンカラー版作曲家の生涯―』新潮社(新潮文庫)10ページ

(2) 若桑みどり「そして音楽だけが残った」(『ショパンカラー版作曲家の生涯―』所収)新潮社(新潮文庫)188~189ページ

(3) 河上徹太郎『ショパン』音楽之友社142ページ

(4) ジャンケレヴィチ(平島正郎訳)「ショパンと夜」(『音楽の手帳・ショパン』所収)青土社166~170ページ

元同志社大学文学部講師(音楽学) 鷗川 真

西脇ロイヤルホテル

Daiwa House Group®

兵庫県西脇市西脇 991 番地 〒677-0015
Tel 0795-23-2000 Fax 0795-23-8604

織乃里

【昼】11:30~
オーダーストップ13:30
【夜】17:30~
オーダーストップ21:00

和食処 織乃里

ラフィネ

RAFFINE

【昼】11:30~15:00
(最終入店14:00)
【夜】17:30~21:00
(最終入店20:00)

レストラン ラフィネ

園は、第2の家庭と言っても過言ではないと思います。そこで「家庭」の意味を、「癒しの」と捉えてみました。特に乳児にとってお母さんの腕の中は最高の癒し空間です。保育園を癒し空間にするため園内のBGMにクラシック音楽を流しています。

では、クラシック音楽は本当に癒しになるのか。クラシック音楽にも色々あり、すべてがよいという訳ではありませんが、

美しいメロディのゆったりとした曲には多くの方が癒されるのではないのでしょうか。妊娠中の女性がクラシック音楽を聴くことは、早産予防につながると思われる。産婦人科医もおられます。

そこでたどり着いたのがモーツァルトでした。モーツァルトの音楽は心地よいものが多く、生体機能に良い影響を及ぼす高周波とゆらぎ、倍音という音の特性を豊富に含んでいると言われています。「1/fゆらぎ」はヒーリング・ミュージックで用いられる言葉ですが、人の耳では聞き取ることができない周波数の微妙な揺れのことです。

また、「モーツァルト

音楽療法」では、モーツァルトの曲を聴くと副交感神経が優位になり、人間の自然治癒力のサポートに役立つとされています。海外でもフランスのトマティス医師は「モーツァルトは素晴らしい母親だ」と表現していたそうです。

いずれにせよ、音楽を聴くだけで何か効果があると断言はできませんが、良い音楽を聴くことで少しでも気持ちがリラックスして「切れる」回数が減ったり、脳が刺激を受けて感受性が高まったりと、心身に良い影響が出てくれればよいと願っています。

(西脇市
西脇保育所長)

APiKa クイズに答えてコンサートに行こう!

2月11日に出演していただくWE3は、前田憲男さんはピアノ、猪俣猛さんはドラムを演奏されますが、荒川康男さんが演奏される楽器はどれでしょうか?

① サックス ② ギター ③ ベース

♪ 正解者の中から、「WE3 ジャズライブ」のチケットを2名様様にプレゼントいたします。

♪ 応募方法：ハガキ・FAX・Eメールにて、クイズの答え(番号)、住所、氏名、年齢、電話番号、ご感想を明記の上、APiKaホールクイズ係宛**10月31日(月)**までにご応募ください。当選者は発送をもって発表にかさせていただきます。

(Vol.61の答え③)

編集後記

小さな秋みつけ〜♪
夜になると秋の虫の合唱がきこえてくるようになりましたね!
子ども頃、鈴虫を飼ってました。羽をふるわせてリ〜ン〜ンときれいな音をだして鳴いていたのを思い出しました。

APiKaホールでも、15周年を迎えて、小学1年生から大人まで、市民から募集された地元の皆様の合唱が聴けます。

演奏部門はライツ室内管弦楽団の伴奏で、コンチェルト風に編曲された曲を、12名のソリストたちが演奏されます。どうぞお楽しみに〜♪

今回、「ボナンタゴン」にジャズドラマの猪俣猛氏とヴァイオリンの古澤巖氏に寄稿を、幸せにもお願いできました。

これからも出演者からの生の声を出るだけ紙面に反映できるように、編集委員一同頑張っています。APiKaホールのスタッフも秋から冬にかけてのスイッチオン!という感じですよ。(GreenN)

音楽の話・輪・利・Wa

保育とクラシック音楽

伊達 恵一

第55回企画展
「横尾忠則 原景 意識の眼」
10月2日(日)~2012年3月25日(日)



開館時間 午前10時~午後5時(入館4時30分まで)
入館料 大人310円(260円)・高・大学生210円(160円)
小・中学生110円(80円) ()内20名以上団体割引料金
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)・祝日の翌日
12/29~1/3

西脇市
岡之山美術館
TEL.0795-23-6223

アトリエシリーズ
「アトリエの一隅」シリーズ
VOL.1 ●10月4日(火)~22日(土)
犬童 徹展「作家の玉手箱」
VOL.2 ●10月23日(日)~11月12日(土)
藤原向意展「作家のおもちゃ箱」
10/23(日)11:00~公開制作 13:30~美術館講座
VOL.3 ●11月13日(日)~12月3日(土)
堀川素弘展「卓上の偶語」

アトリエ個展シリーズ
VOL.1 ●12月4日(日)~24日(土)
鈴木邦江展(絵画)

美術館講座
●10月23日(日) 13:30~
「身の回りにある素材を使ったコラージュ作品の制作」
講師：藤原向意

アトリエシリーズは無料
<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/>
ホームページにも掲載していますので是非ご覧ください。
ブログ「美術館日記」も訪問ください。

西脇市民会館
TEL.0795-22-5715
休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)
12/29~1/3

劇団かかし座 究極のパフォーマンス!
「手影絵の世界 ~ Hand Shadows ANIMARE」
ハンド シャドウズ アニマーレ

とき 10月23日(日) 14:00開演
ところ 市民会館 大ホール **全席指定**
入場料 一般/1,500円 中学生以下/1,000円
おやこペア/2,000円(当日各500円増)
※4歳以上有料(4歳未満はひざ上鑑賞に限り無料)

チケット
好評発売中!

「あとは野となれ山となれ」
~新作人情喜劇! 竹下景子が大衆演劇一座に入る!~

出演 竹下景子、宇梶剛士、岸田茜(3人芝居)
とき 10月30日(日) 15:30開演
ところ 市民会館 大ホール
入場料 指定席/一般3,500円 高校生以下/2,500円
自由席/一般3,000円 高校生以下/2,000円
(当日各500円増)



アピカホール

催しガイド

10月～1月

休館日：毎週水曜日(祝日の場合翌日)12/28～1/4

月/日(曜日)	催物内容	時間	入場料等	主催・問合せ	特集記事
10/11(火)	ライオンズクラブ国際協会 335-D地区 3R2Z 合同例会地区ガバナー公式訪問	13:00～	関係者	3R2Z 西脇ライオンズクラブ ☎0795-25-0711	
10/16(日)	八千代グリーンエコーズ 25周年 記念コンサート	14:00～	無料	八千代グリーンエコーズ 渡辺友江 ☎0795-37-1318	
10/23(日)	劇団かかし座 究極のパフォーマンス! 「手影絵の世界～Hand Shadows ANIMARE」	会場：西脇市民会館 14:00～	一 般 1,500円 中学生以下 1,000円 およこべア 2,000円 (当日各500円増)	市民企画委員会 <small>ゼロ</small> 西脇市民会館 ☎0795-22-5715	P11
10/28(金)	みなと銀行 みなと会 播丹支部 秋季支部会	15:00～	関係者	みなと銀行 三木支店 ☎0794-82-0980	
10/30(日)	「あとは野となれ山となれ」 ～新作人情喜劇! 竹下景子が大衆演劇一座に入る?～	会場：西脇市民会館 15:30～	指定席 一 般 3,500円 高校生以下 2,500円 自由席 一 般 3,000円 高校生以下 2,000円 (当日各500円増)	市民企画委員会 <small>ゼロ</small> 西脇市民会館 ☎0795-22-5715	P11
11/5(土)	第3回 市民フォーラム	13:30～	無料	地域医療検討会 西脇市多可郡医師会 ☎0795-23-3402	
11/6(日)	広原おかり ～こどもからおとなまで楽しめるエレクーン コンサート～	11:00～	一般シングル 1,600円 ベ ア 3,000円 (当日割増あり)	(株)北条楽器 ☎0790-42-0697	
11/12(土)	西脇市民合唱団 第62回 定期演奏会	18:30～	500円	西脇市民合唱団 細田重康 ☎0795-22-4567	
11/13(日)	くすのき リトルピアノコンサート	13:00～	関係者	楠 宮子 ☎0795-48-9332	
11/17(木)	納税表彰式	11:00～	関係者	公益社団法人 西脇納税協会 ☎0795-22-2842	
11/23(水・祝)	発表会	13:00～	関係者	安藤仁美 ☎0795-35-1110	
12/11(日)	アピカホール開館15周年記念事業 15周年記念コンサート	①13:30～ ②18:30～	一 般 1,500円 高校生以下 1,000円	アピカホール ☎0795-23-9000	P2-3
12/18(日)	第17回 クリスマスコンサート	12:30～	関係者	服部文子 ☎0795-42-1530	
12/24(土)	- X'masイブの午後を素敵に - 東京藝大の精鋭16人 弦楽アンサンブル	15:00～	一 般 2,500円 中高生以下 1,500円 (当日いずれも500円増)	焔 音 荒木 ☎0795-22-2388	
1/15(日)	コーラスの集い	13:30～	関係者	垣内順一 ☎0790-42-2948	
1/22(日)	アピカホール開館15周年記念事業 第14回「アピカ・アンサンブルコンサート」	13:30～ (予定)	無料	アピカホール ☎0795-23-9000	

- ★主催者の都合により変更になる場合があります。内容についてのご質問は、各主催者までお問い合わせください。
- ★アピカホール主催の有料コンサートにご来場のお客様に限り、アピカ地下駐車場の3時間無料駐車サービス券をお渡しします。

■編集：ポナンタゴン編集委員会
■発行：西脇市立音楽ホール「アピカホール」

〒677-0015 兵庫県西脇市西脇991
TEL(0795) 23-9000 FAX(0795) 23-9031
http://www.nishiwaki-cs.or.jp/apikahall/
E-mail : apikahall@ever.ocn.ne.jp
メールアドレスが変わりました。

このガイドは2011年9月1日現在の資料を元に編集しており、内容は変更される場合があります。無断での転載を禁じます。